氏名	越智幸一	部署	社会福祉子ども学科	職名	教授					
研究分野	発達心理学・教育心理学・臨床発達心理学									
学位	修士(人間・環境学)									
学歴	1993年京都大学 教育学部 教育心理学科、95年京都大学大学院 人間・環境学研究科 人間・環境学専攻修士課程、98年									
子庭	京都大学大学院 人間・環境学研究科 人間・環境学専攻博士課程									
経歴	1998年旭川大学女子短期大学部助教授、2007年西オーストラリア大学心理学科客員研究員、08年旭川大学女子短期大									
<u>₹±Д</u> €	学部准教授、09年旭川大学女子短期大学部教授、13年鎌倉女子大学短期大学部教授、18年埼玉県立大学保健医療福祉									
所属学会(役職)	日本発達心理学会、日本教育心理学会、日本特殊教育学会、日本保育学会									

## 【2024年度実績】

【2024年度実績】										
1. 研究業績										
(1) 著作(著書及びその他の著作物)										
	著作の名称		単・共	ISBN	発	発行所、全ページ		著者、編者名	発行等年月	
1	理論と実践の往還で紡ぐ「保育・幼児教育学」幸せに生きるためのヒントは乳幼児期に 第5章 健康な心とからだは、 生きる力の源です		共著	あり	朝倉書	含書店;P.132		越智幸一	2025.3	
(	(2) 論文									
	論文の名称		単・共	査読	IF対象詞	雑誌名、巻(号)、開始	台-終了ベージ	著者、編者名	発表等年月	
1	該当なし									
(	(3)学会発表									
	学会発表の演題		単・共	学	学会名、開催都市			発表者 (発表者は○印)	発表等年月	
1	該当なし									
(	4) その他								<u> </u>	
	名称		単・共	発表場所等		場所等		発表者 (発表者は○印)	発表等年月	
1	該当なし									
2.	競争的資金等の研究								<u>.</u>	
	競争的資金等の名称			研究		2名 研究		2代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	1 該当なし									
3.	教育業績									
(	1) 講義									
	講義の名称	科目責任者	コマ数			概要(教育内容・方法等において工夫した点)				
1	保育の心理学	0	15				Dスライドとビデオ資料とを有機的に組み合わせ、学生 D発達を理解しやすい工夫をした。			
2	保育の心理学Ⅱ	0	15			さまざまな事例を用い、学生に考察してもらうようにし、より実 知識を身につけてもらえるよう工夫をした。			し、より実践的な	
3	心理学①	0	l15			授業の最初にプレテストを実施したり、授業の最後に確認テストをする など、小テストを活用しながら、学生の理解度を深める工夫をした。				
4	心理学②	0	15			授業の最初にプレテストを実施したり、授業の最後に確認テストをする など、小テストを活用しながら、学生の理解度を深める工夫をした。				
5	幼児と人間関係	0	15			さまざまな事例を用い、学生に考察してもらうようにし、より実践的な 知識を身につけてもらえるよう工夫をした。				
(2)演習										
	演習の名称	科目責任者	=	マ数		概要	(教育)	内容・方法等において工夫し	た点)	
1	乳児保育	0	15		に			グループワークの形式で取り られる知識やコミュニケーシ		
	•									

2	乳児保育	0	15	子ども役、先生役、保護者役などを設定し、学生にロールブレイをしもらうことにより、知識や技能を実際に保育現場で生かせるよう工夫					
	2 / 中型			した。					
(	3)実習	l	<b>光</b>						
	実習の名称	科目責任者	学外実習:期間 学内実習:コマ数	■ 棚男(教育内容・方法等においてⅠ夫Ⅰ.た百)					
1	ヒューマンケア体験実習	0	2024.9	科目責任者として科目運営に	携わった。				
2	保育実習IA		2024.4~2024.9	事前事後指導、訪問指導を行	うった。				
3	保育実習Ⅱ		2024.4~2024.9	事前事後指導、訪問指導を行った。					
4	保育実習Ⅲ		2024.4~2024.9	事前事後指導、訪問指導を行った。					
5	教育実習(幼) I		2024.4~2024.9	事前事後指導、訪問指導を行った。					
6	教育実習(幼)		2024.4~2024.9	事前事後指導、訪問指導を行った。					
7	保育実習   B	0	2025.2~2025.3	科目責任者として実習施設と協力し、運営を行った。					
( .	4) 論文指導	Į.							
	対象		期間	主指導・副指導の別及び指導人数					
1	卒業論文		2024.4~2024.11	主指導 2名 副指導			名		
(	5) その他								
	名称		期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)					
1	該当なし								
4.	社会貢献活動		I						
(	1)講演会、研修会、公開講座等の	講師							
	講演会、研修会、公開講座等の	名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ 開			開催年月		
1	横浜市実習指導者研修		横浜市こども青少年局	横浜市実習指導者研修 2024.			2024. 11,12		
2	目黒区保育研修		目黒区子ども支援部	部 保育におけるリーダーシップ 2024					
3	墨田区人材育成研修		<b>墨田区子ども子育て支援部</b> 人材育成継続研修				2024.6,7,10		
(	2) 国、自治体、学術団体等におけ	る委員	· 等				L		
	国、自治体、学術団	本等の名	 名称	委員等の	2名称		任期		
1	該当なし								
(	1 3)ジャーナリズムでの発言								
	メディア等の名称		内容						
1	メディア等の名称 内容   1 該当なし								
( .	4) その他								
	項目    相手方等				期間				
1	該当なし								
5.	学内運営					-			
	項目		内容				期間		
1	全学的委員会及びセンター業務等	入試実	施部会員				2024.4~2025.3		
2	2 大学広報活動 オープンキャンパス					202	4.6, 8		
6.	- 1								
	受賞名				主 <sup>·</sup>	催	受賞年月		
1	1 該当なし								
	7. 特許の取得								
	特許名				特許	番号	登録年月		
1	1 該当なし								
8.	8. 特記事項								
1	該当なし								